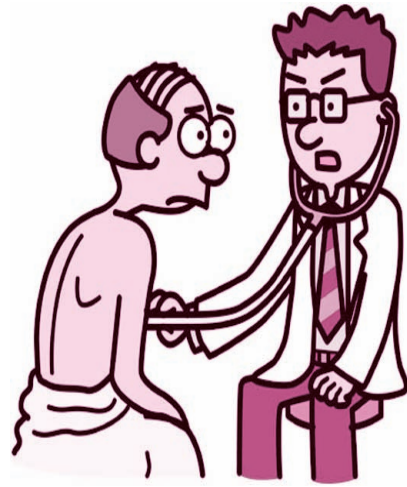


表1 特定健診と後期高齢者医療健診の日程

検診日	対象年齢	受診券送付月	受診期間	実施方法
特定健康診査 (国民健康保険加入者)	40~75歳	5月下旬	6月1日~ 9月30日	対象者の方の自宅へ受診券を送付します。
後期高齢者医療健診 (後期高齢者医療保険加入者)	75歳以上	6月下旬	7月1日~ 10月31日	市内医療機関(表2)で受診し、後日健診を受けた医療機関で検査結果を説明します。 満65歳以上の方は生活機能評価が行われます。
生活習慣病予防健診	35~39歳 (昭和45年4月2日~昭和50年4月1日生まれの方)	募集期間 6月1日~ 6月30日 まで	8月1日~ 10月31日	申込方法はがきによる申込み 定員 470人(抽選) 詳しくは、6月1日号広報でお知らせします。
生活保護を受給されている方の健診	40歳以上	7月下旬	8月1日~ 10月31日	対象者の方の自宅へ受診券を送付します。

費用は無料です。
特定健康診査および後期高齢者医療健診は、長期入院・施設入所者は対象になりません。
平成21年7月から平成22年3月までの間に75歳に達する方は、特定健康診査の対象となります。

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予防・改善を目的とした、あきる野市国民健康保険の特定健診を6月から実施します。後期高齢者健診は、7月から実施します(健診項目は、表3のとおり)。



平成21年度

市民の健康診査が始まります

また、8月からは、35歳から39歳までの方を対象に生活習慣病予防健診、生活保護を受給されている40歳以上の方を対象に健診を実施します(実施方法は表1のとおり)。

これらの健診と同時に、肝炎ウイルス検診(表4)、65歳以上の方を対象とした生活機能評価の健診と、結核健診も同時に実施します(実施医療機関は表2のとおり)。いずれの健診も費用は無料です。

がん検診は、5月15日号広報でお知らせします。

問合せ 健康課健康づくり係(直通558・1118)

表2 特定健康診査・肝炎ウイルス検診実施医療機関一覧

医療機関名	所在地	医療機関名	所在地
あきる野病院	秋川6-5-1	佐藤内科循環器科クリニック	秋川2-5-1
池谷医院	秋川1-3-7	佐野内科クリニック	野辺1091
いなメディカルクリニック	伊奈477-1	清水外科	二宮1011
奥野医院	下代継95-11	朱膳寺内科クリニック	秋留1-1-10
奥村整形外科	下代継19-1	鈴木内科	館谷156-2
草花クリニック	草花2724	瀬戸岡医院	二宮1240
公立阿伎留医療センター	引田78-1	葉山医院	引田552
小机クリニック	小中野160	樋口クリニック	秋川3-7-5
近藤医院	油平35	星野小児科内科クリニック	小川東1-19-20
斎藤医院	二宮1364-3	米山医院	二宮1133
さくらクリニック	野辺1003		

5月1日現在の状況
最新の状況一覧表は、受診券とともに送付します。

表3 「基本的な健診」の項目 すべての対象者が受診します。

項目	検査内容
身体計測	身長
	体重
	BMI 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)
血圧	収縮期血圧(最高血圧)
	拡張期血圧(最低血圧)
血中脂質検査	中性脂肪
	LDLコレステロール
	HDLコレステロール
肝機能検査	AST(GOT)
	ALT(GTP)
代謝系検査	空腹時血糖
	HbA1C
腎機能検査	尿酸
	尿糖
	尿蛋白
その他	血清クレアチニン
	-GT(-GTP)

「詳細な健診」の項目 医師の判断に基づき選択的に実施されます。

貧血検査	ヘマトクリット値 血色素量(ヘモグロビン値) 赤血球数	眼底検査実施医療機関は、阿伎留医療センター・野口眼科医院・森眼科となります。
心機能	12誘導心電図	
眼底検査	眼底写真撮影	

表4 肝炎ウイルス検診(無料)

検診の種類	検診内容	実施時期	実施場所	申込み方法
対象	40歳になる方(対象の方には5月下旬に勧奨通知と問診票を送付します)	6月1日から10月31日まで	市が契約した市内医療機関で採血します。医療機関一覧は表2参照	市が契約した市内医療機関の窓口にてお申込みください(特定健康診査と同時受診可能です)。
対象外	40歳以上の方で、過去に市が行った肝炎ウイルス検診の受診機会を逃した方	5月1日から平成22年3月31日まで	東京都が契約した医療機関で採血します。	保健所・東京都契約医療機関で申し込んでください。
東京都実施検診	40歳未満の方			

市長コラム

No.15

木々の芽吹きが始まってから瞬く間に、あたり一面新緑に変わりました。あきる野市の自然が輝き、やさしくほほ笑みかける一番の季節の到来です。ゴールデンウィークには、秋川渓谷の自然をたずねて多くの人が訪れることでしょう。

あきる野市の名所となりつつある瀬音の湯の来訪者は、先月末に50万人を超えました。過日、私はこれらのお国自慢を携えて、大田区長を訪問しました。その目的は「海と山の交流事業」をめざしてのことです。大田区は、あきる野市の10倍の人口規模を持ち、今、最も動きのある臨海の大都市です。多摩川の河口に位置し、その昔は六郷の渡しがあり、あきる野市の奥山で生産された木材が筏を組んで流れてきた場所でもあります。

白井 孝

あきる野市長

摩川の主流と下流という地理的、歴史的にも縁のあることから、是非交流を図りたいと考えました。両都市は、その特性に大きな違いがあり、お互いの無いものを交換し合うことは有効なことです。大田区には、空の玄関口羽田空港や東京湾の水辺空間があり、日本一の町工場が集積し、時代の先端を行く産業の力強さを見る事ができます。半日間の視察をしてきましたが、日頃とは全く違う世界がありました。一方、私たちのあきる野市には、大田区には無い豊かな森林や田園が有ること、そこでは、親子で川遊びや農林体験など自然に親しむことができるし、瀬音の湯につかることもできるなど説明し、観光大使の役を努めてきました。東京都の中で都市間交流は、私たちのまちに新たな活力を生み、楽しい郷土づくりに役立つはずと、あきる野市長

5月12日は 民生委員・児童委員の日です

広げよう

地域に根ざした 思いやり

現在、市には69人の民生委員・児童委員がいます。民生委員・児童委員は、市民と行政をつなぐパイプ役として、福祉に関する

ろいろな相談やお手伝いを行っています。また、いじめや児童虐待の問題など、子育て支援に関することにも取り組んでいます。主任児童委員は、子育て支援に関する活動を専門的にを行っています。委員の自宅には、「東京都民生委員・児童委員」の門標が掲げてあります。気軽に相談してください(相談内容は秘密を厳守します)。

問合せ 生活福祉課庶務計画係(直通558・1927)